

令和2年度 入退院情報共有フォローアップ調査 報告書

(入退院時における病院と在宅サービス事業所間の情報共有に関する調査のフォローアップ調査の結果)

令和3年2月
島根県健康福祉部高齢者福祉課

1. 調査の概要

2. 調査結果の概要（入院時の情報提供）

- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

3. 調査結果の概要（退院支援）

- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

4. 調査のまとめ

【目的】

- 平成26年度「入退院時における病院と在宅サービス事業所間の情報共有に関する調査」を実施し、情報共有できていない事例が一定数あることが判明。
- その後、圏域の入退院時の情報共有ルールを策定するなど、医療機関と介護サービス事業所間の連携に向けた取組みを進めているところもある。
 - 島根県入退院連携ガイドライン(R2.9改訂)
 - 雲南圏域における入退院連携マニュアル(H30.8改訂)
 - 大田圏域における入退院連携ガイド(H30.2)
 - 益田圏域における入退院連携ガイド(H29.3)
 - 松江市入退院連携ガイドライン(R1.11)
 - 出雲市、浜田圏域は入退院連携ガイドを策定中
- 平成28～令和元年度にフォローアップ 調査を実施。
- 今年度もこのフォローアップ調査を実施することとし、情報共有の実態把握を行い、各圏域において課題解決に向けた方策を検討する資料として活用する。

【調査対象機関数】

居宅介護支援事業所 : 267施設 (H26: 278施設)
訪問看護ステーション : 86施設 (H26: 62施設)
病院 : 47施設

【調査方法】

電子申請システムによるアンケート調査

【調査対象及び対象期間】

担当利用者のうちR2.9月中に病院から入退院したケース

【回収率及び回収数】

居宅介護支援事業所 243施設 (回収率91.0%)
回答者数 631名
回答対象ケース数 入院789ケース 退院702ケース
訪問看護ステーション 71施設 (回収率82.6%)
回答者数 160名
回答対象ケース数 入院210ケース 退院202ケース
病院 43施設 (回収率91.5%)
回答対象ケース数 入院7,331ケース 退院7,271ケース

R2入退院連携調査(R2.9月中に入退院したケース)

【居宅介護支援事業所】

	松江圏域	雲南圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域	計
調査対象施設数	82	20	65	25	43	23	9	267
回答施設数	80	19	58	23	37	17	9	243
回答率	97.6%	95.0%	89.2%	92.0%	86.0%	73.9%	100.0%	91.0%
回答者数	217	50	159	56	83	48	18	631
9月中に入院したケース	292	68	179	73	84	65	28	789
9月中に退院したケース	236	59	159	83	77	59	29	702

【訪問看護ステーション】

	松江圏域	雲南圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域	計
調査対象施設数	34	6	18	10	9	7	2	86
回答施設数	25	4	18	10	7	5	2	71
回答率	73.5%	66.7%	100.0%	100.0%	77.8%	71.4%	100.0%	82.6%
回答者数	50	4	53	18	25	8	2	160
9月中に入院したケース	61	17	58	41	17	10	6	210
9月中に退院したケース	58	15	59	34	24	9	3	202

【病院】

	松江圏域	雲南圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域	計
調査対象施設数	13	5	11	4	7	5	2	47
回答施設数	12	4	9	4	7	5	2	43
回答率	92.3%	80.0%	81.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%
9月中に入院したケース	1944	433	2745	482	728	791	208	7331
9月中に退院したケース	1925	433	2702	472	754	788	197	7271

1. 調査の概要

2. 調査結果の概要（入院時の情報提供）

(1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション

(2) 病院

3. 調査結果の概要（退院支援）

(1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション

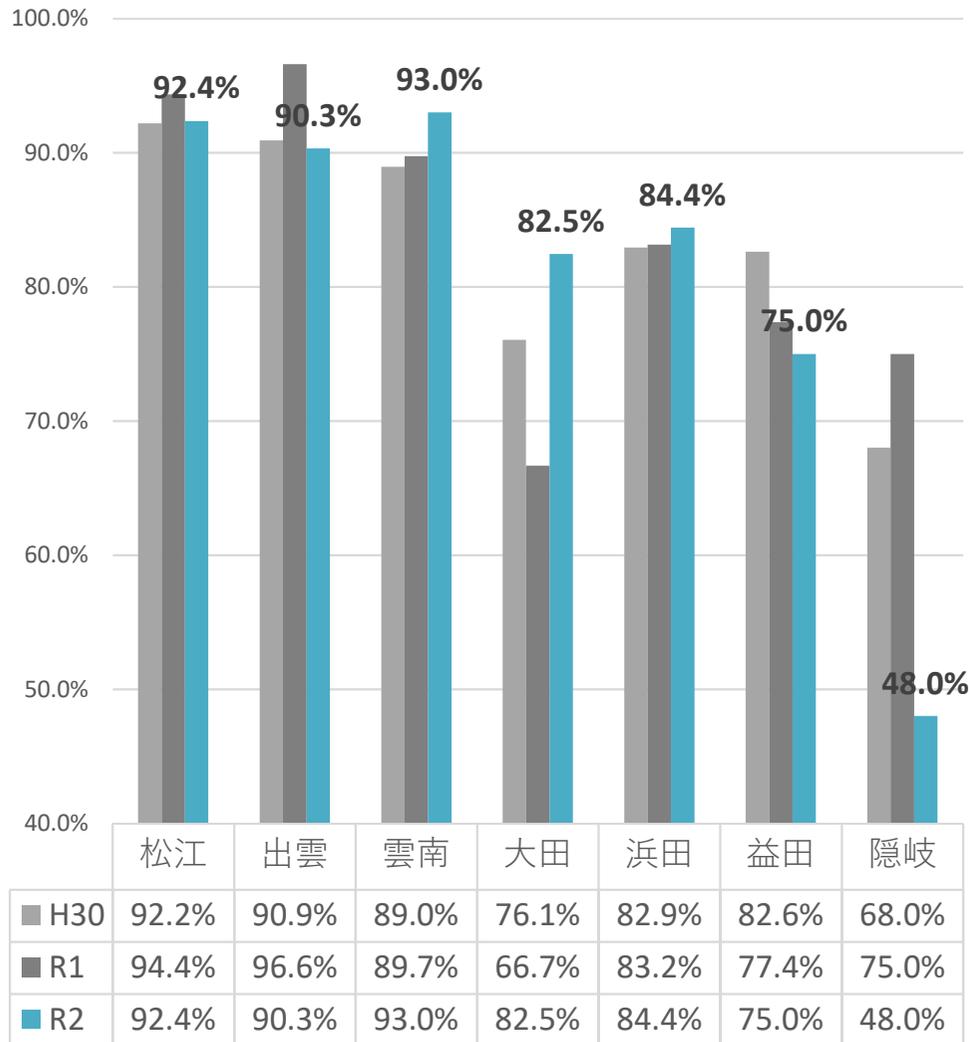
(2) 病院

4. 調査のまとめ

2(1)【入院時の情報提供(居宅・訪看)】

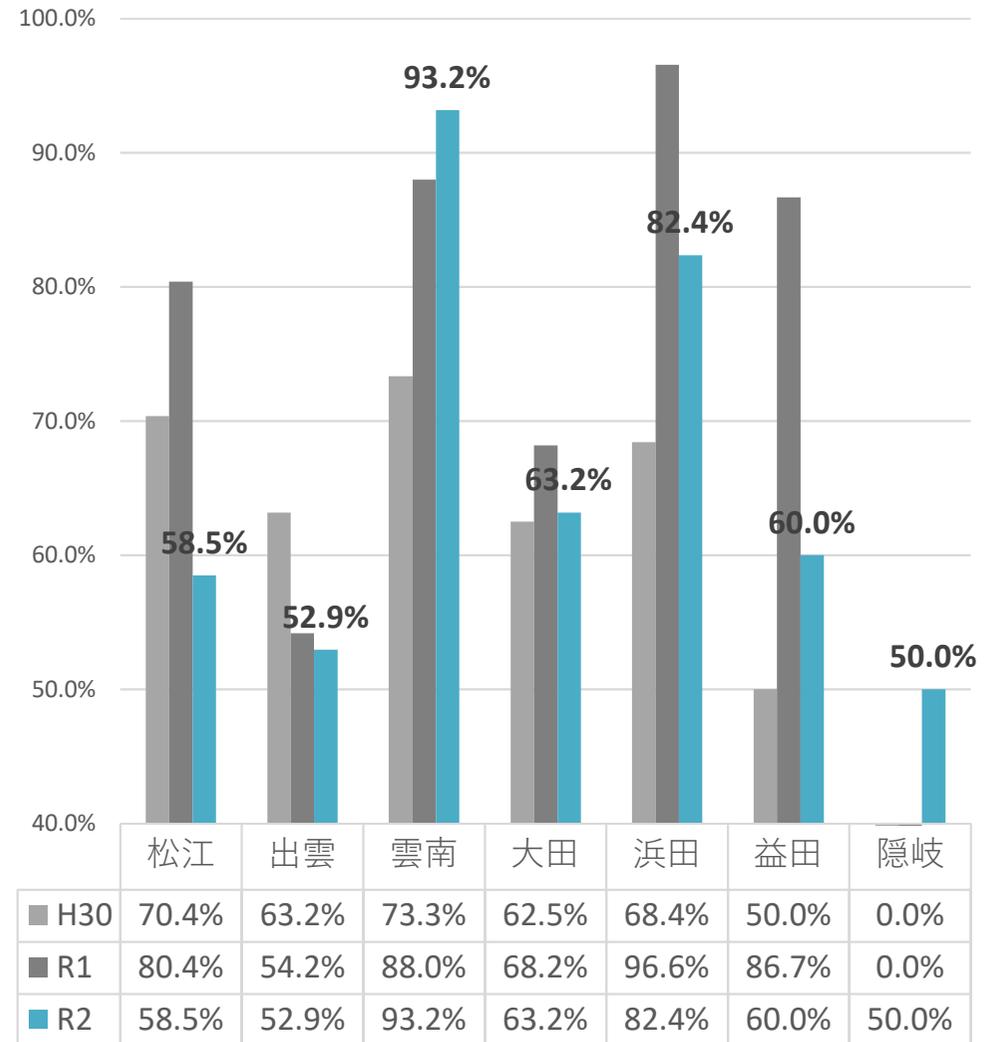
① (入院)病院への情報提供の有無 「R2年度・圏域別」

居宅介護支援事業所



おおむね7割から9割程度で推移

訪問看護ステーション

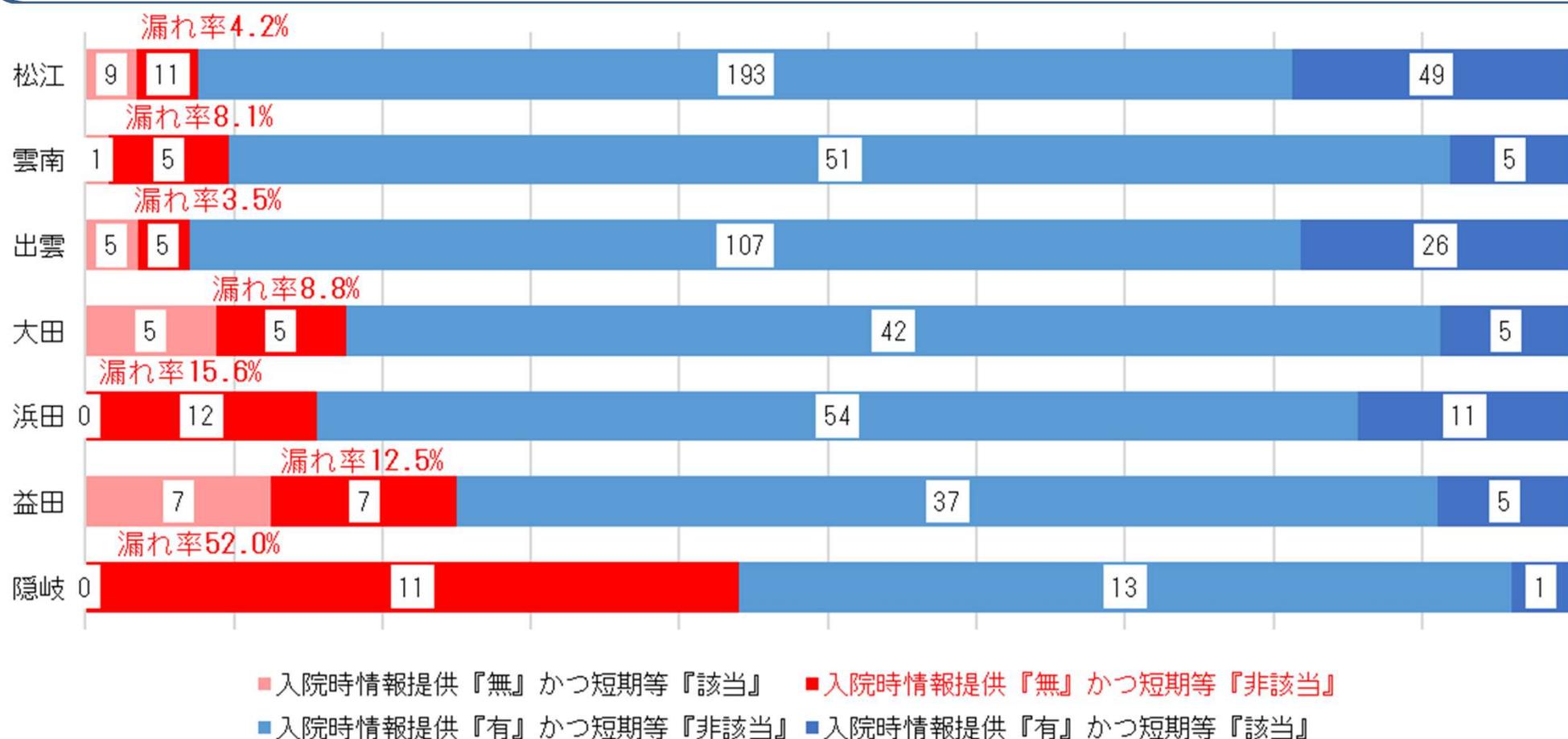


居宅介護支援事業所に比べると低い傾向

② (入院)病院への情報提供の内訳(R2 居宅介護支援事業所 圏域別)

青系グラフ → 情報提供があった 赤系グラフ → 情報提供がなかった

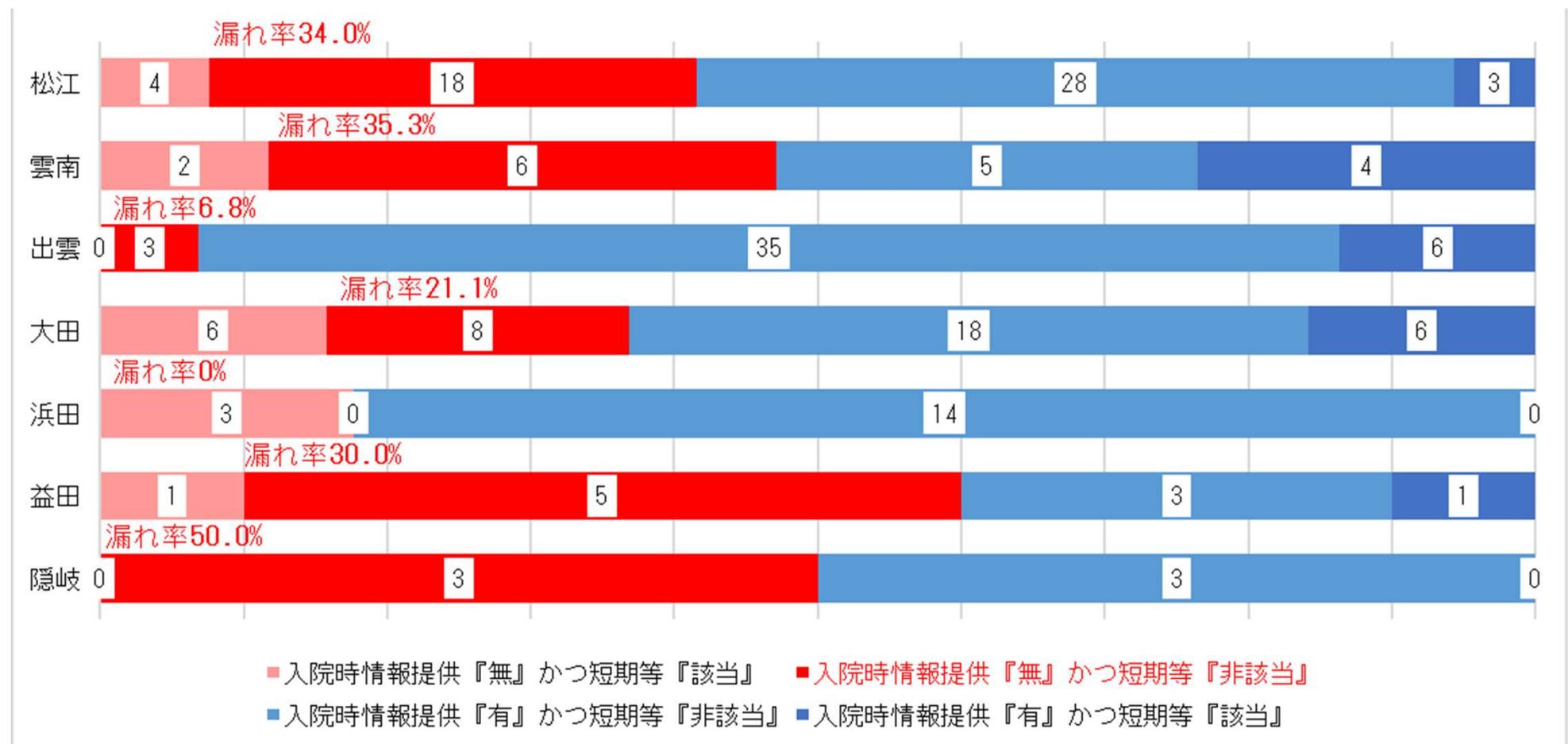
※情報提供がなかった件数のうち、入院時情報提供「無」かつ短期等「非該当」については、「**漏れ率**」という表現でその割合を示しています



③ (入院)病院への情報提供の内訳(R2 訪問看護ステーション 圏域別)

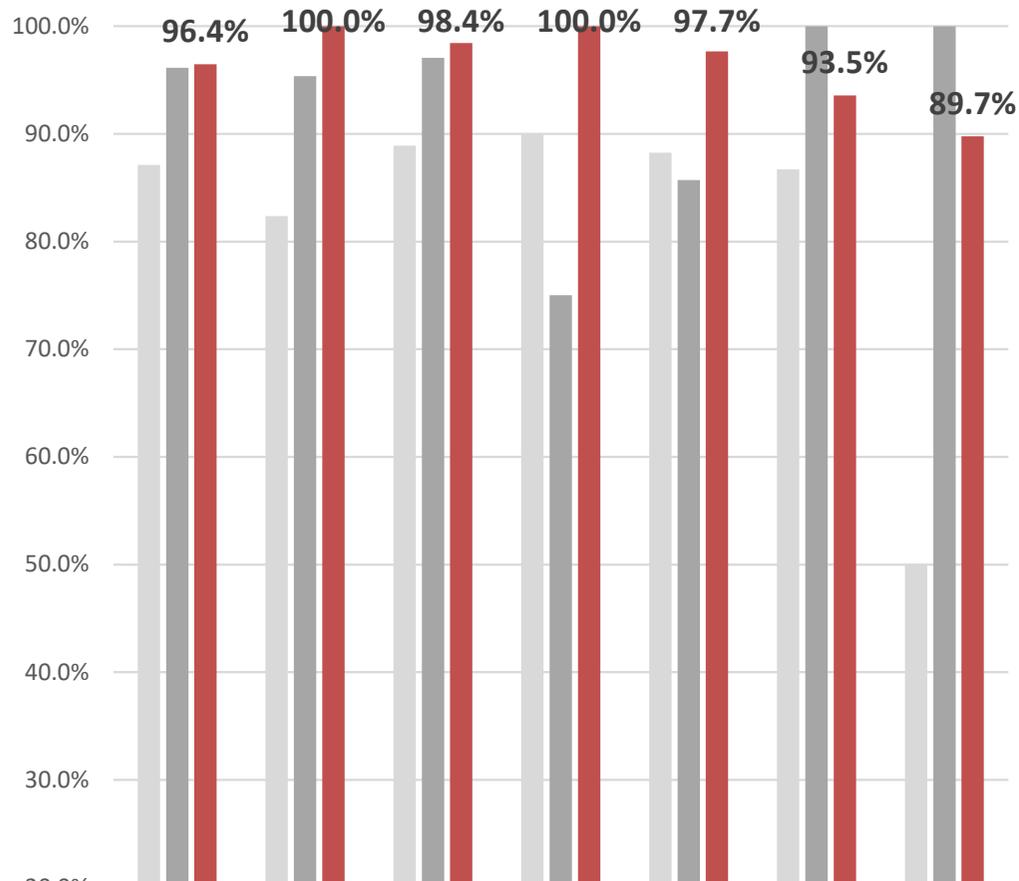
青系グラフ → 情報提供があった 赤系グラフ → 情報提供がなかった

※情報提供がなかった件数のうち、入院時情報提供「無」かつ短期等「非該当」については、「**漏れ率**」という表現でその割合を示しています

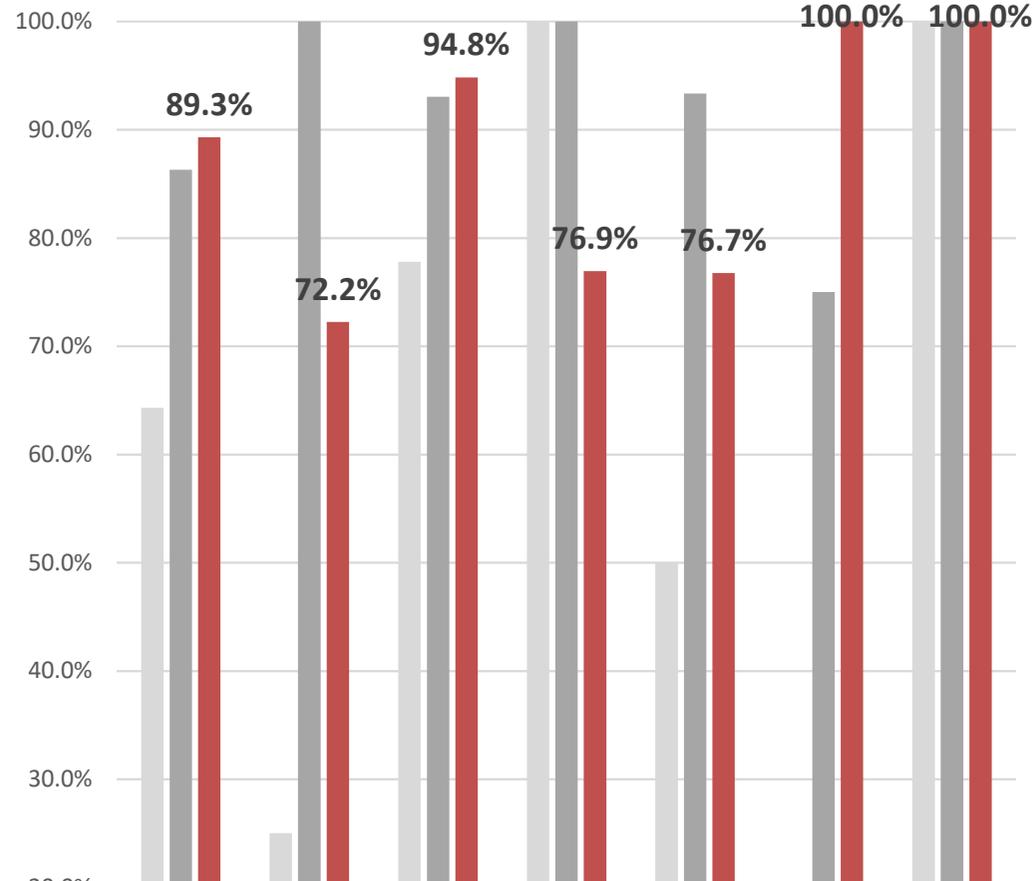


④ (入院)病院との情報共有が十分に行われている割合 H26年度と令和元年度、2年度の比較

居宅介護支援事業所



訪問看護ステーション



【ポイント】 H26年度と比べて、多くの圏域で情報共有が十分に出来ている

1. 調査の概要

2. 調査結果の概要（入院時の情報提供）

（1）居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション

（2）病院

3. 調査結果の概要（退院支援）

（1）居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション

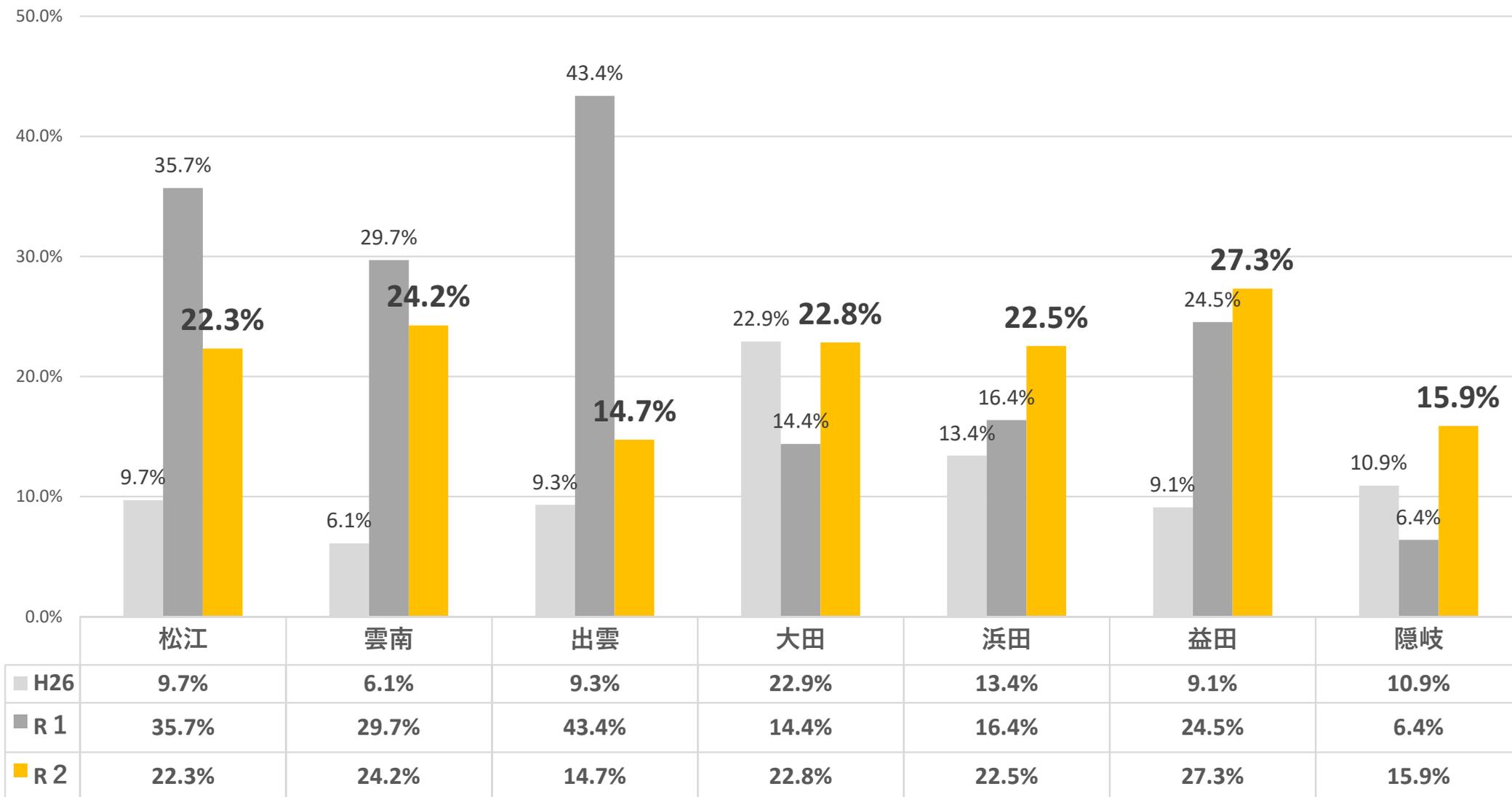
（2）病院

4. 調査のまとめ

2(2)【入院時の情報提供(病院)】

① H26年度との比較《病院からみた入退院連携》

入院時の情報提供割合

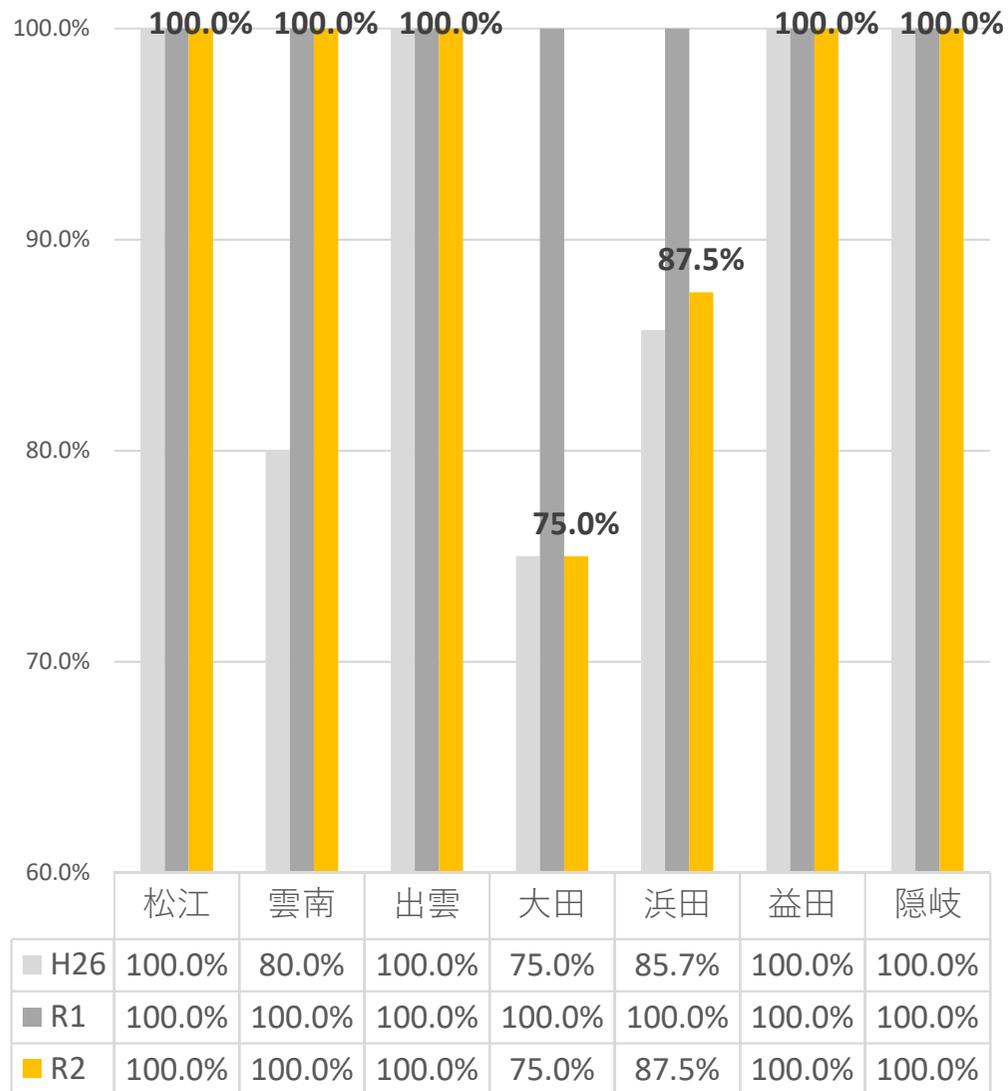


【ポイント】 ほとんどの圏域で、H26年度に比べて情報提供の割合が高くなっている

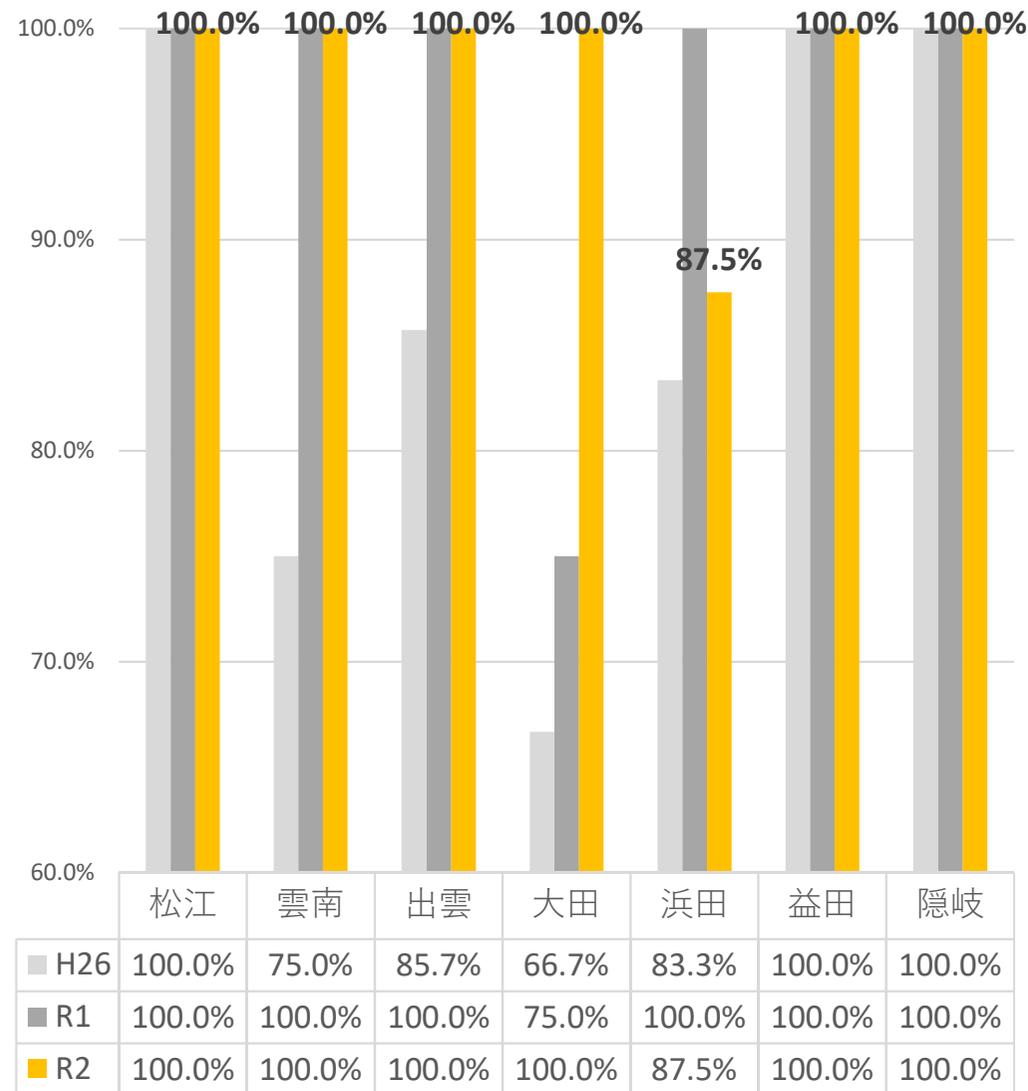
② H26年度との比較《病院からみた入退院連携》

(入院)居宅／介護事業所／訪看との情報共有が十分に行われている割合

居宅介護支援事業所



訪問看護ステーション



【ポイント】 5年前と比べ、近年は多くの圏域において情報共有が十分に出来ている

1. 調査の概要

2. 調査結果の概要（入院時の情報提供）

- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

3. 調査結果の概要（退院支援）

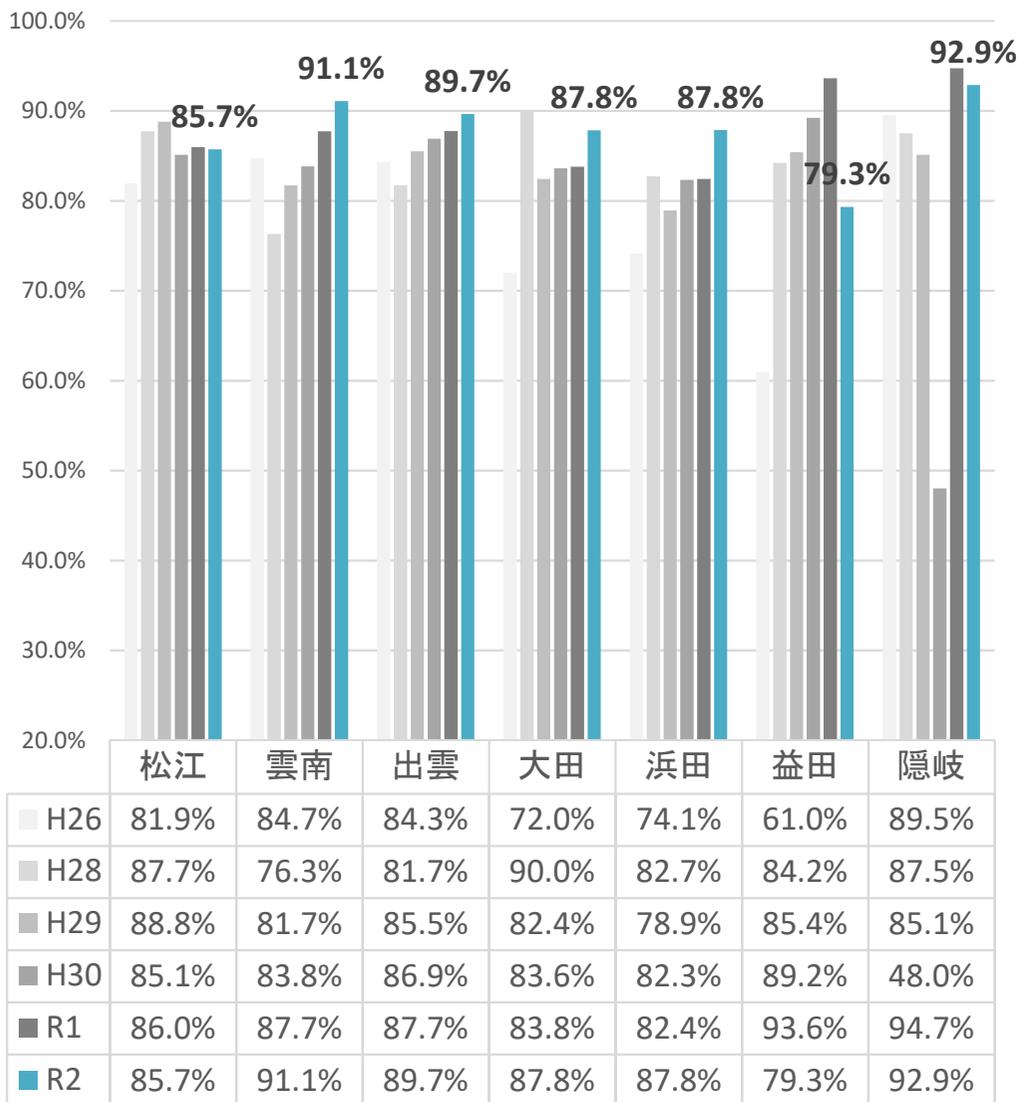
- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

4. 調査のまとめ

3(1)【退院支援(居宅・訪看)】

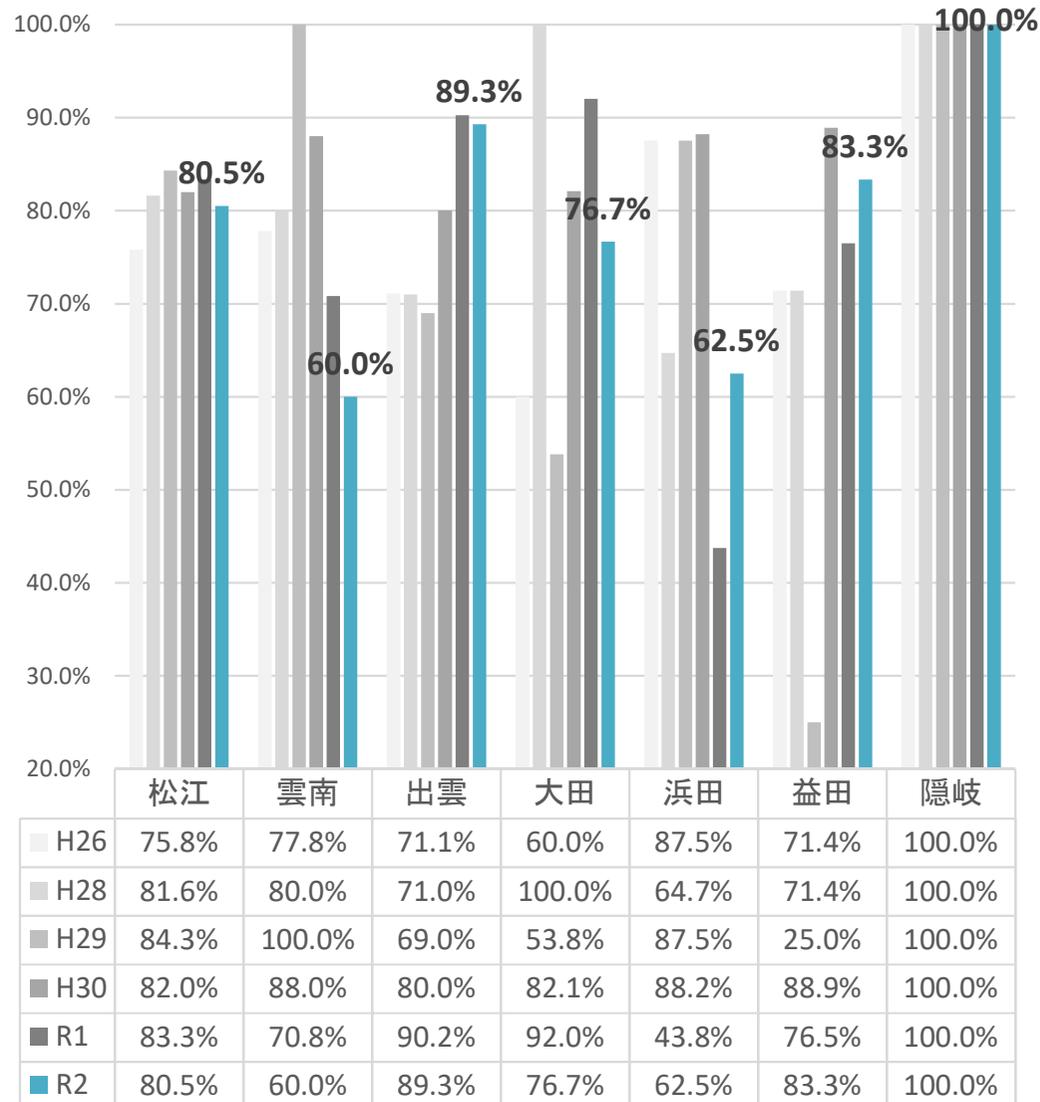
① (退院)病院からの退院支援連絡の有無 「調査年度別・圏域別」

居宅介護支援事業所



過去6回の調査において、高い水準で維持もしくは向上している

訪問看護ステーション



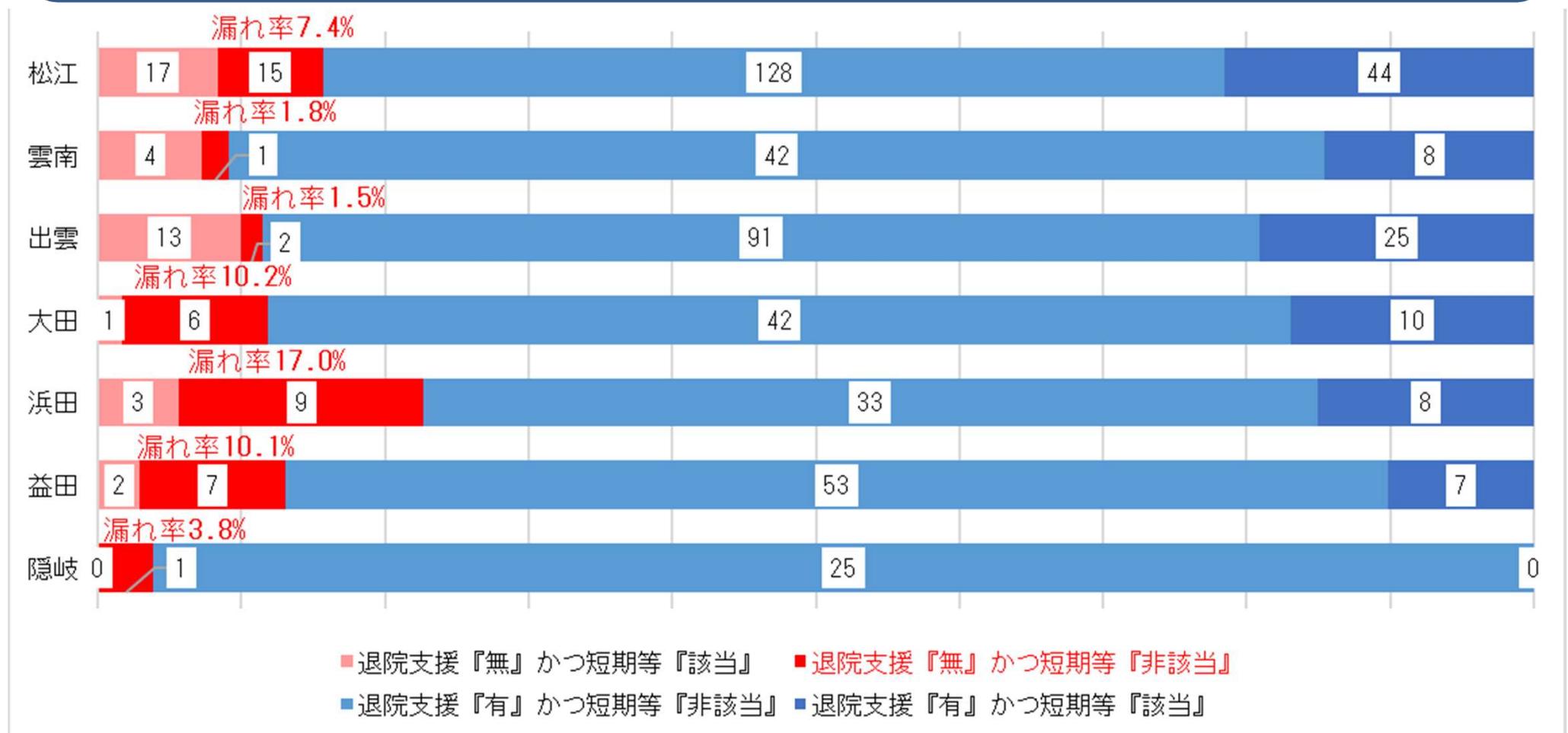
ばらつきがみられるものの、おおむね高い水準を維持している

② (退院)病院からの退院支援の内訳(R2 居宅介護支援事業所 圏域別)

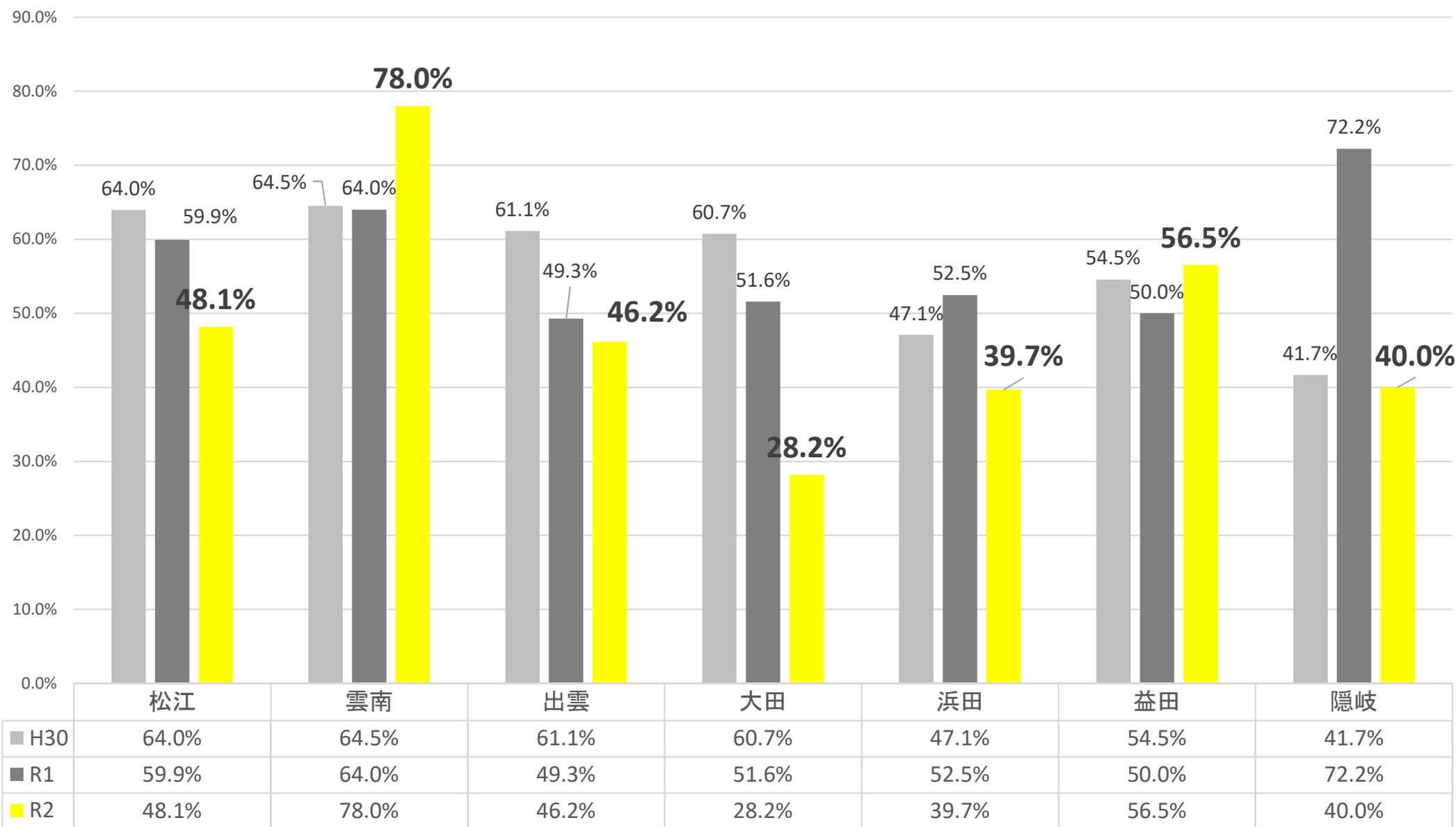
青系グラフ → 退院支援があった

赤系グラフ → 退院支援がなかった

※退院支援がなかった件数のうち、退院支援「無」かつ短期等「非該当」については、「**漏れ率**」という表現でその割合を示しています

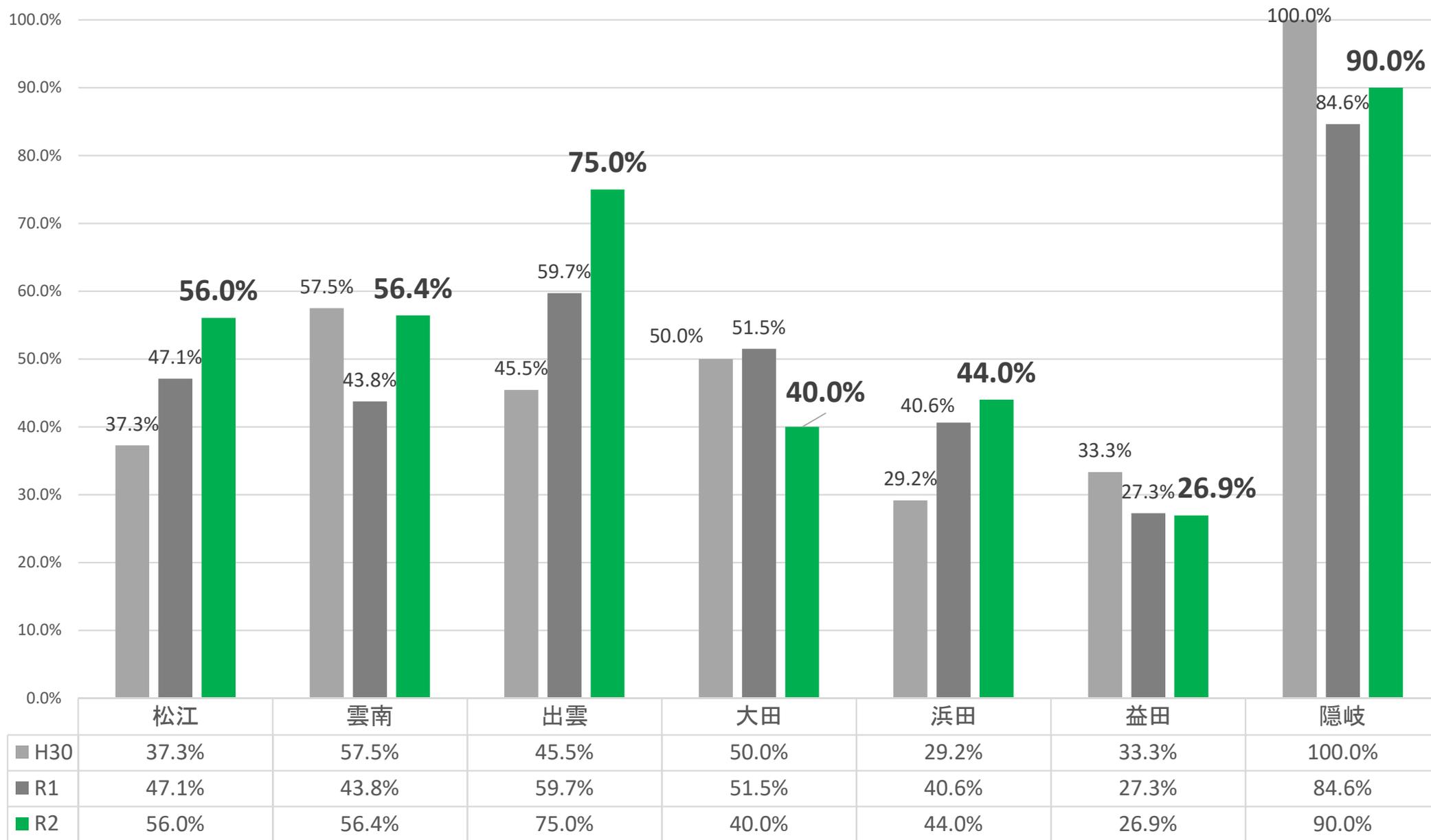


③ 退院カンファレンスの実施（居宅介護支援事業所 調査年度別・圏域別）



【ポイント】 今年度は、多くの圏域で退院カンファレンスの実施割合が減少している

④ 退院カンファレンス医師参加率(居宅介護支援事業所 調査年度別・圏域別)



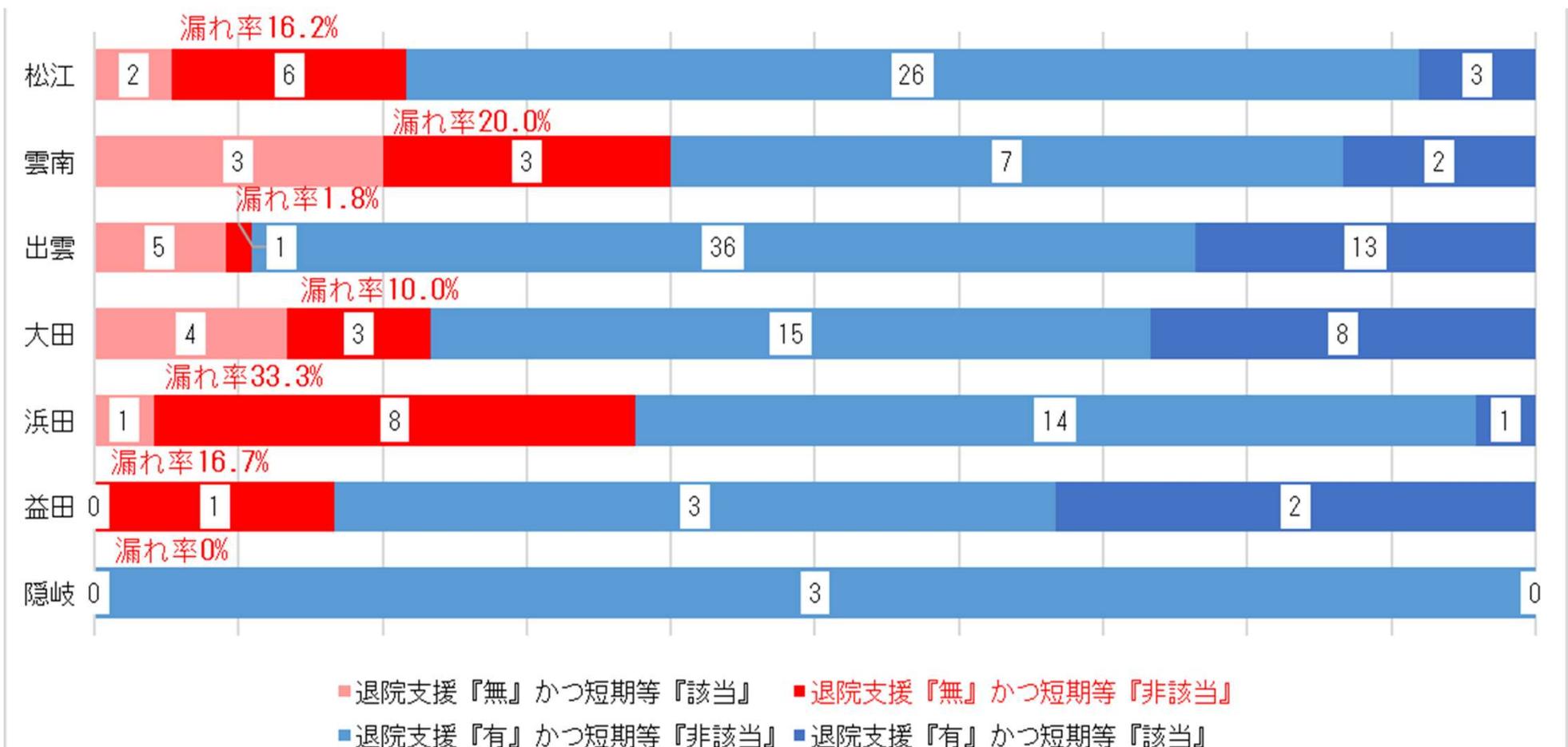
【ポイント】退院カンファレンスにおける医師の参加率が上がっている

⑤ (退院)病院からの退院支援の内訳(訪問看護ステーション 圏域別)

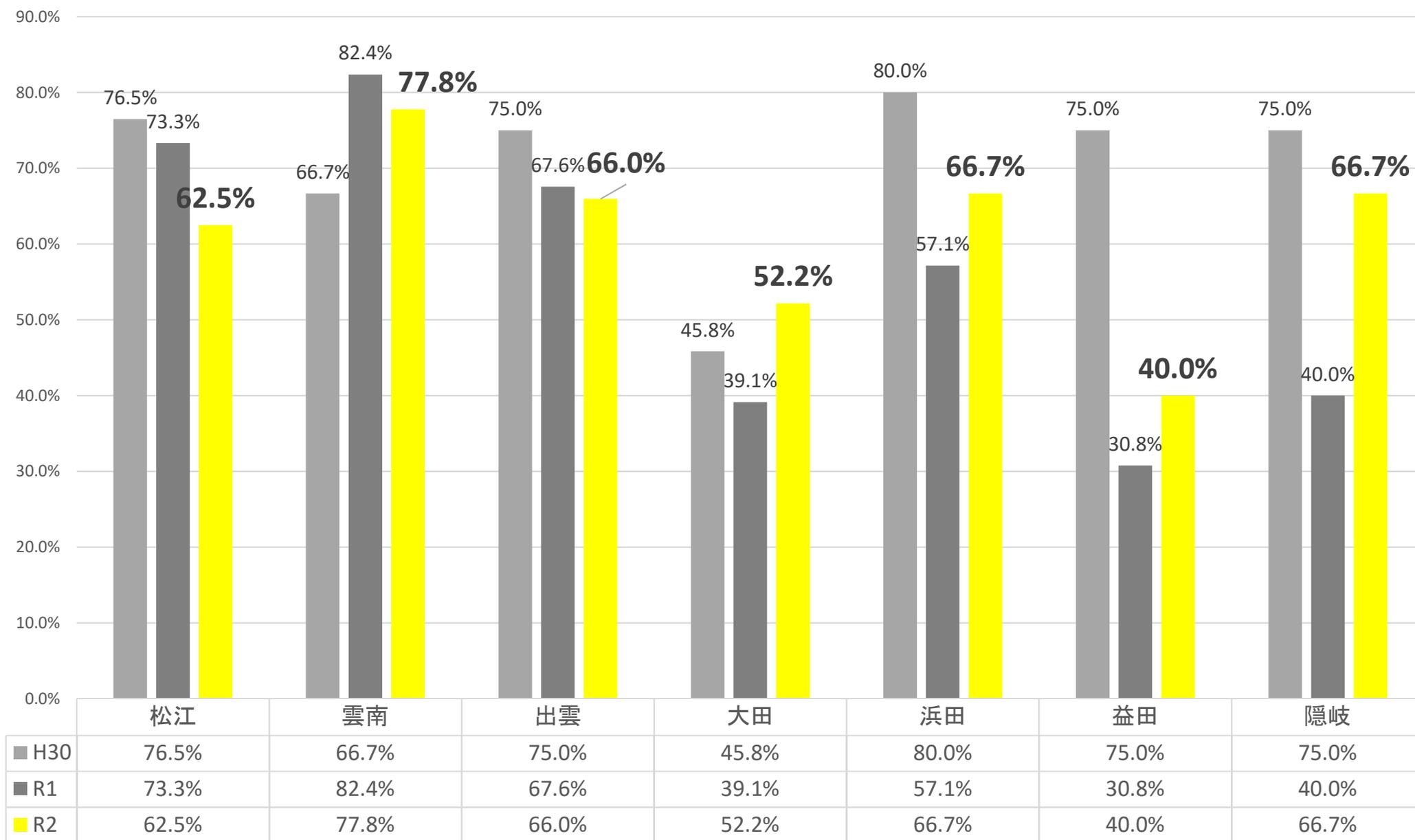
青系グラフ → 退院支援があった

赤系グラフ → 退院支援がなかった

※退院支援がなかった件数のうち、退院支援「無」かつ短期等「非該当」については、「**漏れ率**」という表現でその割合を示しています

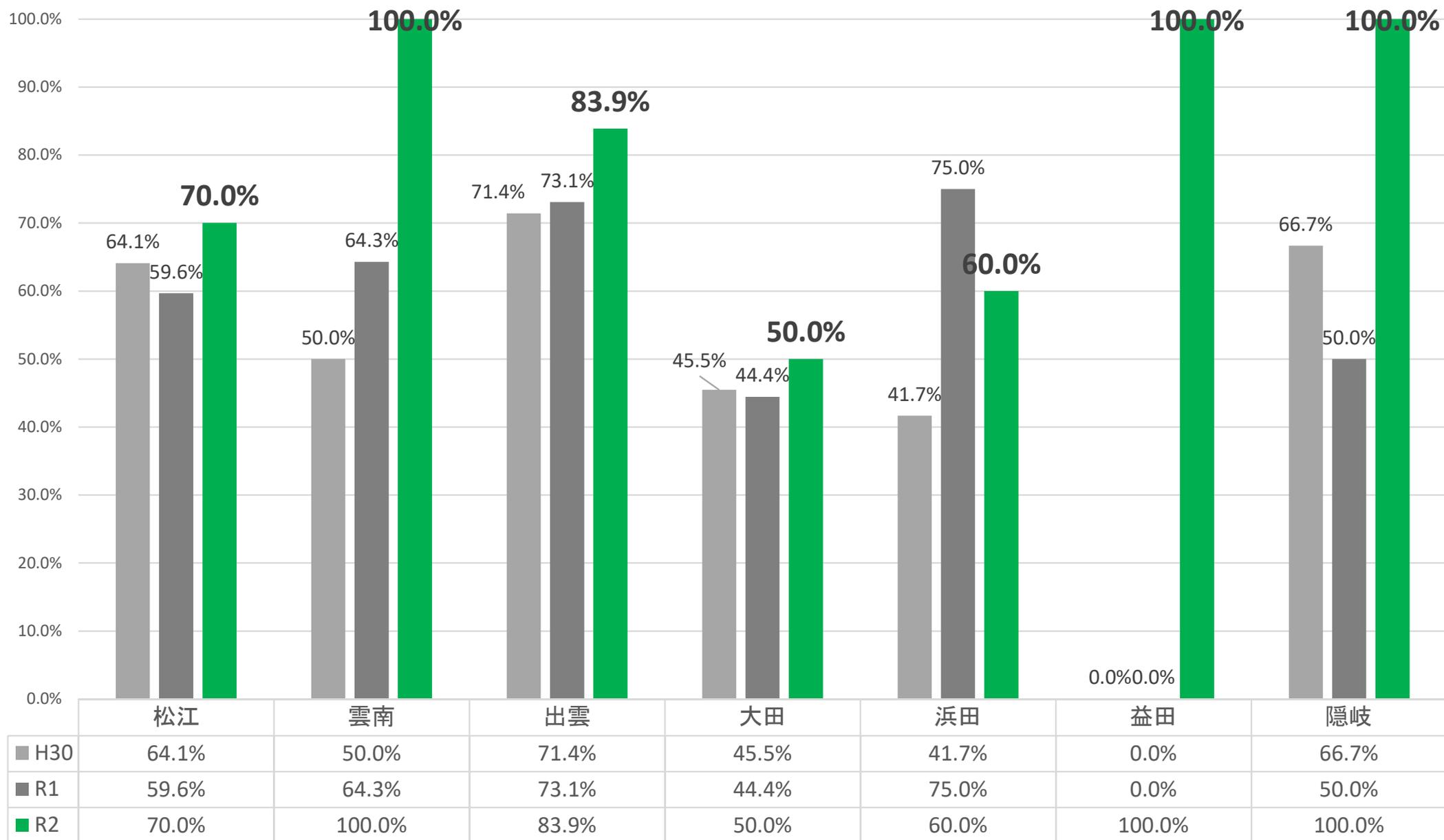


⑥ 退院カンファレンスの実施（訪問看護ステーション 調査年度別・圏域別）



【ポイント】 今年度は、県東部で退院カンファレンスの実施割合が減少傾向にある

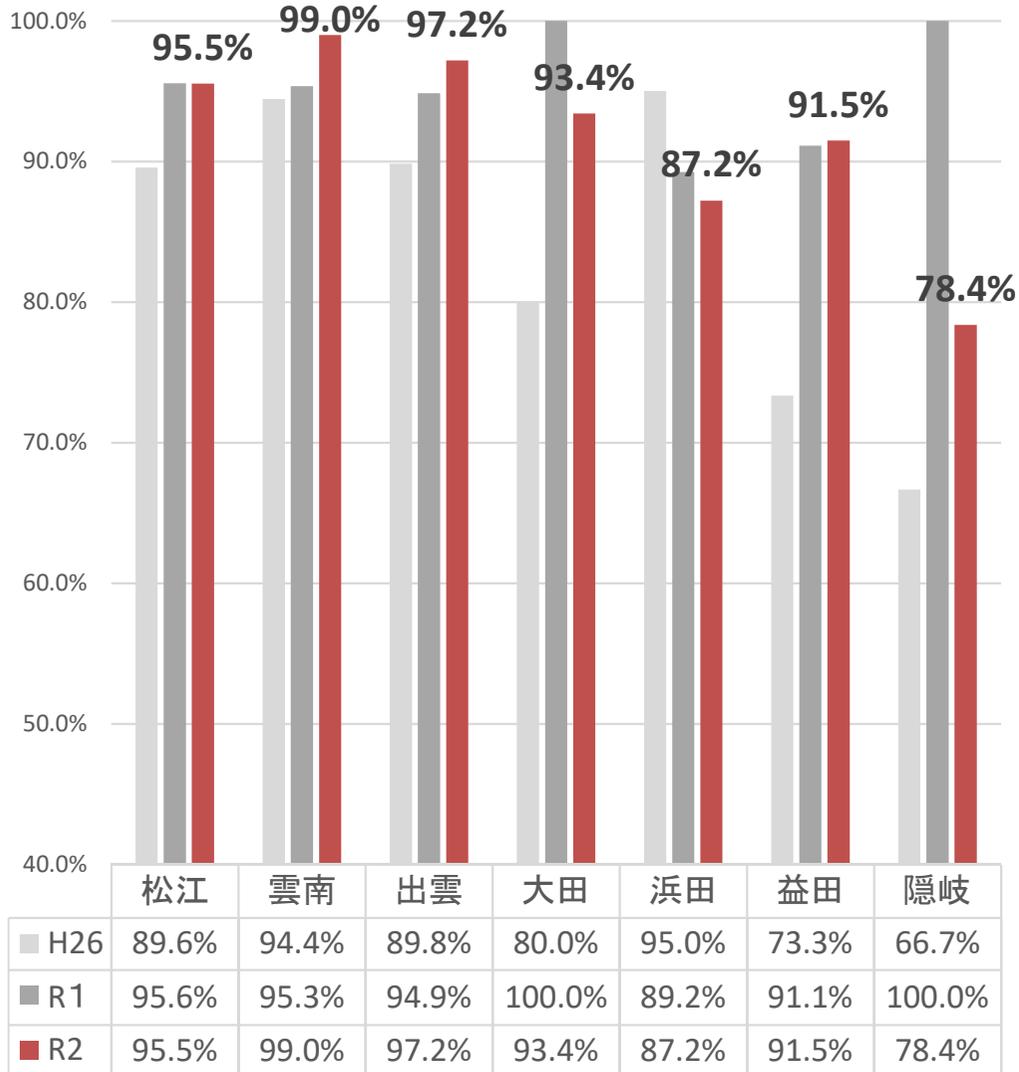
⑦ 退院カンファレンス医師参加率(訪問看護ステーション 調査年度別・圏域別)



【ポイント】退院カンファレンスにおける医師の参加率が高い傾向にある

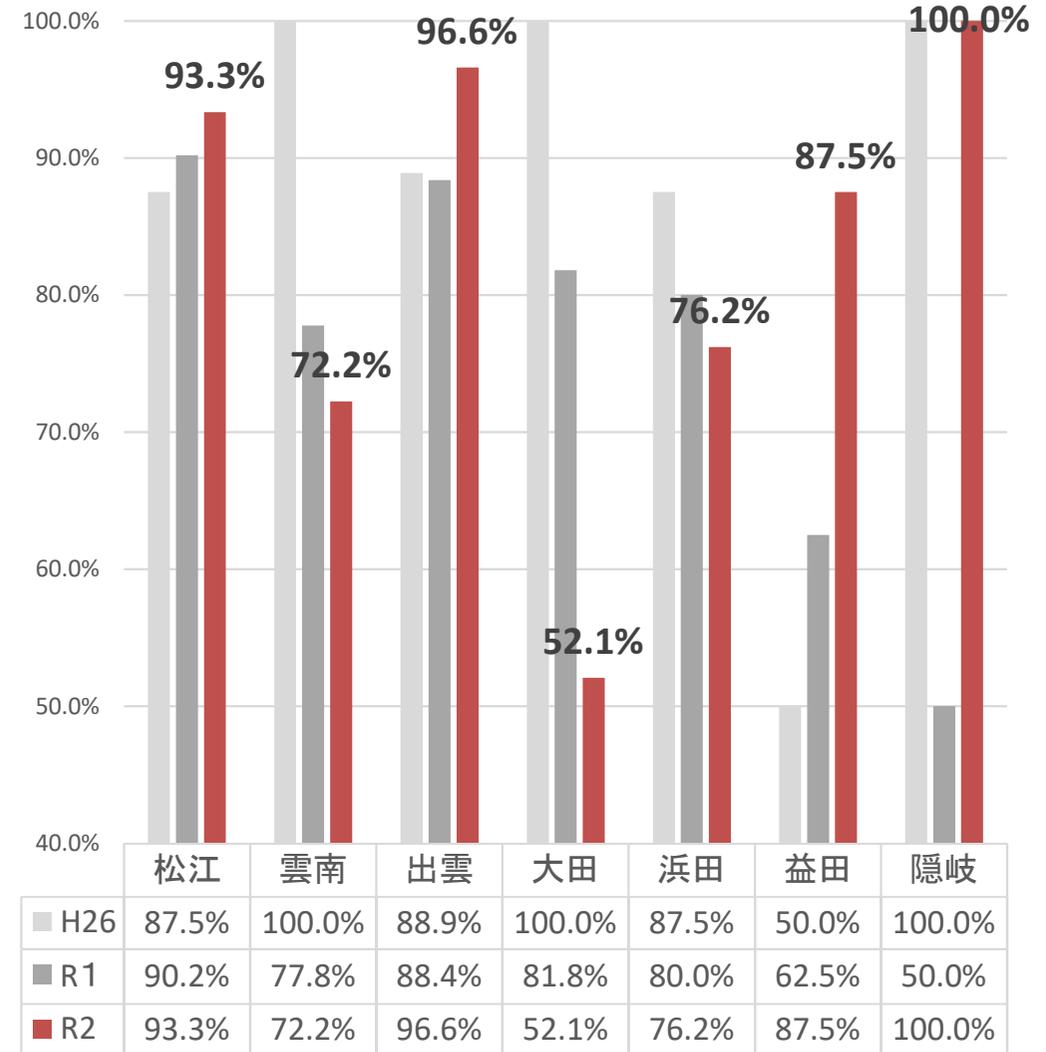
⑧ (退院)病院から提供される情報の質的充実度
H26年度と令和元年度、2年度の比較

居宅介護支援事業所



H26年度より、十分な情報提供を受けている

訪問看護ステーション



H26年度より、不十分の割合が高い圏域も見受けられる

1. 調査の概要

2. 調査結果の概要（入院時の情報提供）

- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

3. 調査結果の概要（退院支援）

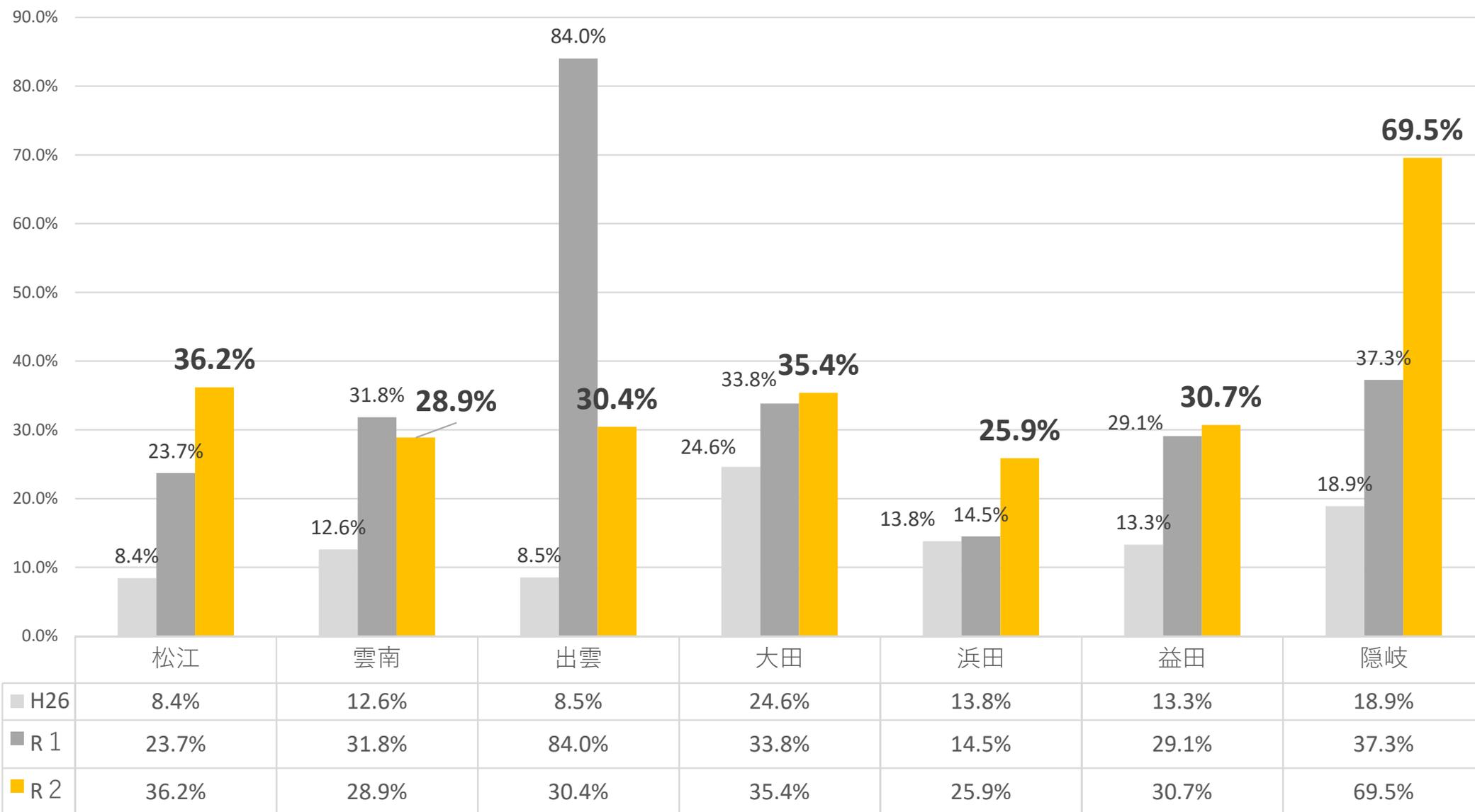
- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

4. 調査のまとめ

3(2)【退院支援(病院)】

① H26年度との比較<<病院からみた入退院連携>>

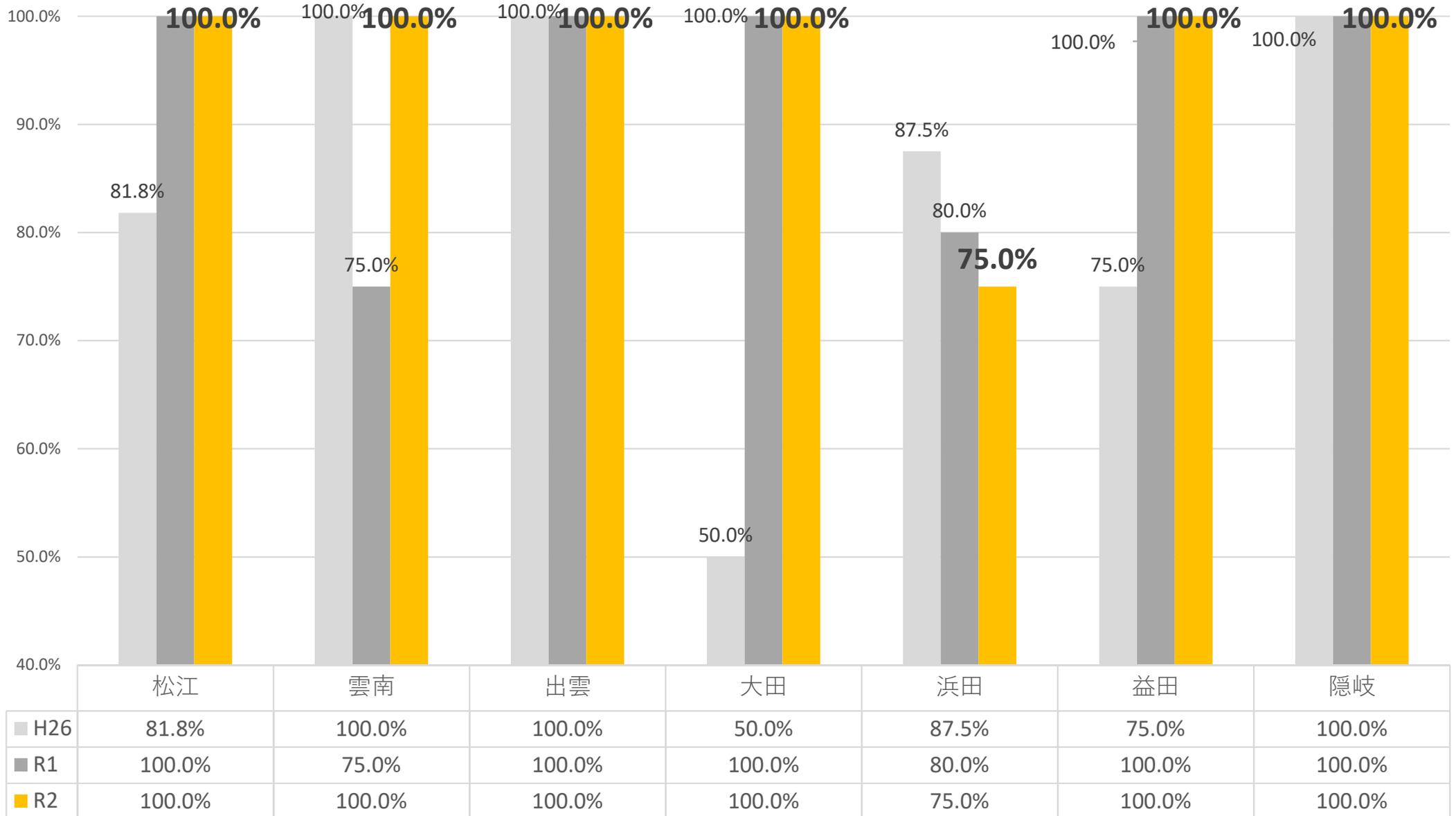
居宅／介護事業所／訪看への退院時情報提供割合



【ポイント】 すべての圏域で、H26年度より情報提供の割合が高くなっている

② H26年度との比較 <病院からみた入退院連携>

(退院)居宅／介護事業所／訪看との情報共有が十分に行われている割合



【ポイント】 H26年度と比べ、多くの圏域において情報共有が出来ている

1. 調査の概要

2. 調査結果の概要（入院時の情報提供）

- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

3. 調査結果の概要（退院支援）

- (1) 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション
- (2) 病院

4. 調査のまとめ

調査のまとめ

- ① 入院時、退院時ともにいずれの圏域で高い水準で連絡調整されている。
- ② 一方で、一定の「漏れ」が散見している。
- ③ 病院から提供される情報の質的充実度は、H26年度に比べて居宅介護支援事業所では高い傾向にある。一方で、訪問看護ステーションでは不十分な回答も散見される。
- ④ 今後も、入退院調整のルール化により全体の底上げを図りながら、個々の連携がスムーズにできるよう、圏域で顔の見える関係づくりを継続して進めていくことが必要。

※ 自由意見は別冊「入退院連携フォローアップ調査～自由意見から～」、
「コロナ渦における工夫と困り感・・・入退院連携の現場から」を参照